



2023年度

事業実績

自 2023年4月 1日
至 2024年3月31日

I - 1. 事業方針

(昨年6月総会資料)



(1) 自動車業界の結束強化

- ▼新型コロナウイルス感染収束後の産業・社会の正常化、新たなモビリティ社会の実現に向けた動向を見据えつつ、**550万人がいる自動車業界をカバーする「総合団体」**として業界の結束強化を図る。
- ▼会議所各事業において**SDGs**との関連を明確化しつつ、**CSP大賞**も活用しながら、業界の**SDGs**への取り組み強化に向けた機運・意識の向上を図る

(2) 重点項目への取り組み

- ▼重点項目（分野）を「業界結束強化」「税制」「交通安全」「保険」「クルマ・バイク好き拡大」とし、関係業界の支持・支援の下、諸活動を展開する
- ▼特に、**2050年カーボンニュートラル達成**については、経団連モビリティ委員会や自民党自動車議連等との連携を取りながら、重点的に動向をフォローする

(3) 日本自動車会館運営事業の再構築

- ▼新型コロナウイルス収束を視野に、**日本自動車会館運営事業の再構築**を図る



1) 業界結束強化（ビジョン・ミッションの推進）

- 新たなモビリティ社会実現を支える自動車業界550万人の結束強化と総合団体としての認知向上
- 「クルマ・社会・パートナーシップ大賞(CSP大賞)」継続実施（第3回開催）

2) 税制

- 自動車関係諸税の中長期的視点での見直しに向けて関係方面の議論を促進する

3) 交通安全

- 「交通安全。アクション」を中心に業界の取り組みPRを継続・強化

4) 保険

- 自賠責積立金 約5,900億円の早期全額返済に向けた理解活動の継続

5) クルマ好き拡大

- ホームページ・SNSを活用し、クルマ・バイクやイベント情報提供の充実を継続

II. 2023年度 事業進捗スケジュール



月	会議所運営・税制関係	事業・委員会関係
4		★5 自賠責 被害者保護増進等事業に関する検討会 ★8-9 交通安全アクション 2023新宿 ★16 会員研修会<モビリティ>
5	★22 運営審議委員会 <総会・理事会上程議案> ★31 理事会 (書面)	★28 交通安全イベント (新宿警察署) ★1 会員研修会<シェアリングエコノミー>
6	★16 総会・理事会 懇親会 <事業実績・計画/決算・予算案>	★28 会員研修会<情報セキュリティー> ★1 交通安全イベント (愛宕警察署)
7		
8	★3 JAF・税制改革フォーラム街頭活動 (JR田町駅前)	★3 会員研修会<電動キックボード> ★4 自賠責 被害者保護増進等事業に関する検討会
9	★5 CSP大賞 応募概要発表・公募開始(~11/20) ★6 経団連税制委員会 ★12 税制部会<委員団体より要望内容ヒアリング> ★28 第1回税制委員会<税制改正要望書(案)審議>	★23 交通安全イベント (高輪警察署) ★26 会員研修会<物流 2024年問題> ★30 交通安全イベント (愛宕警察署)



月	会議所運営・税制関係	事業・委員会関係
10	<p>★5 経団連モビリティ委員会</p> <p>★18 税制改正要望書とりまとめ →議員・関係官庁配布</p> <p>★30 自民党国交部会税制ヒアリング</p>	<p>★3 経済・産業委員会<自動車産業動向></p> <p>★10 日本自動車会館交流会</p> <p>★11 道路・交通委員会<予算概算要求関係></p> <p>★26-27 全国専務理事会（東京）</p> <p>★30 会員研修会<CASE></p>
11	<p>★15 公明党自動車懇話会税制ヒアリング</p> <p>★16 税制改革フォーラム ユーザー生の声パネル展示 開始 (日本自動車会館)</p> <p>★20 CSP大賞 応募締め切り</p> <p>★29-30 CSP大賞第1回選考委員会（方針確認）</p>	<p>★16 国内施設視察会（静岡・富士モータースポーツ フォレスト）</p> <p>★27 交通安全ナスバ展示会（日本自動車会館内）（～12/1）</p> <p>★29 会員研修会<サーキュラーエコノミー></p> <p>★30 自賠制度を考える会 要望活動①（財務副大臣）</p>
12	<p>★1 自動車議連 政策懇談会<税制要望 関係15団体出席></p> <p>★12月 税制改革フォーラム SNSメッセージ発信<計10回></p> <p>■14 与党令和6年度税制改正大綱とりまとめ</p> <p>★22 CSP大賞第2回選考委員会（受賞者決定）</p>	<p>★4 自賠制度を考える会 要望活動②（国交大臣・国会議員）</p> <p>★8 自賠責 被害者保護増進等事業に関する検討会</p> <p>■22 自賠繰り戻し(65億)政府案閣議決定</p>

10/26

2 テジ
0 イヤ
2 パ
3 シン
ヨモ
ービ
リ

11/5



月	会議所運営・税制関係	事業・委員会関係
1	<p>★5 自動車5団体賀詞交歓会</p> <p>★15 CSP大賞 受賞者公表</p>	<p>★15 金融庁 自賠責審議会</p> <p>★19 金融庁 自賠責審議会</p> <p>★29 会員研修会<自動車業界動向></p>
2	<p>★9 CSP大賞 表彰式・交流会</p> <p>★15 第2回税制委員会<甘利自動車議連会長と意見交換></p> <p>★26 運営審議委員会<理事会上程案審議></p> <p>★1 理事会 <事業計画・予算等審議></p>	<p>★21-22 全国会議所専務理事会（静岡）</p> <p>★27 会員研修会<ライドシェア></p> <p>★1 23年度全国会議所永年勤続者表彰式・懇親会</p>
3		<p>★15 道路・交通委員会<交通事故動向等></p> <p>★26 経済・産業委員会<自動車産業動向></p>
4		<p>★3 会員研修会<交通安全></p> <p>★6-7 交通安全アクション 2024新宿</p> <p>★23 会員研修会第300回記念講演（講師：会議所内山田会長）</p>



III. 2023年度 主な事業実績

1. 事業活動



1) 組織運営

■事業分野 進捗状況サマリー

やるべき事業分野（ミッション）	
1	自動車の保有・利用環境向上に向けた政策提言
2	自動車業界・団体間交流・連携促進
3	自動車の利用促進・好感度の向上
4	自動車業界の地位・好感度の向上
5	上記に優れた実績をあげた人・組織への 賛称・褒賞

2023年度主な事業進捗

- ・ 税制改正要望書とりまとめ、与党ヒアリングや**自動車議連政策懇談会に会員団体と連携し対応**
- ・ **自賠償**は、引き続き繰り返し要望活動と世論喚起に注力
- ・ 委員会活動は**政策動向の情報共有**を中心
- ・ **通常レベル**の定時総会懇親会やCSP大賞表彰式・交流会に加え、日本自動車会館内交流会開催など**拡大展開**
- ・ 国内施設視察会・会員研修会・全国専務理事会等を**計画通り開催**
- ・ 「**ジャパンモビリティショー2023**」の告知・入場拡大など**盛り上げに向けた協力**
- ・ **第3回CSP大賞・交通安全アクション**の定着開催
- ・ **クルマ・バイク好き拡大事業、SNS**情報発信を継続



■定時総会・理事会・懇親会開催(23年6月16日)



総会：事業実績・決算等の承認とともに自動車輸入組合上野理事長を新任理事に選任

懇親会：4年ぶりに通常形式で350名が出席 8



■ 定時総会懇親会の模様

ご挨拶いただいた来賓
計7名の皆様
(ご挨拶順)



西村経産大臣



西田国交政務官



細田衆院議長



高市国務大臣



松本総務大臣



加藤厚労大臣



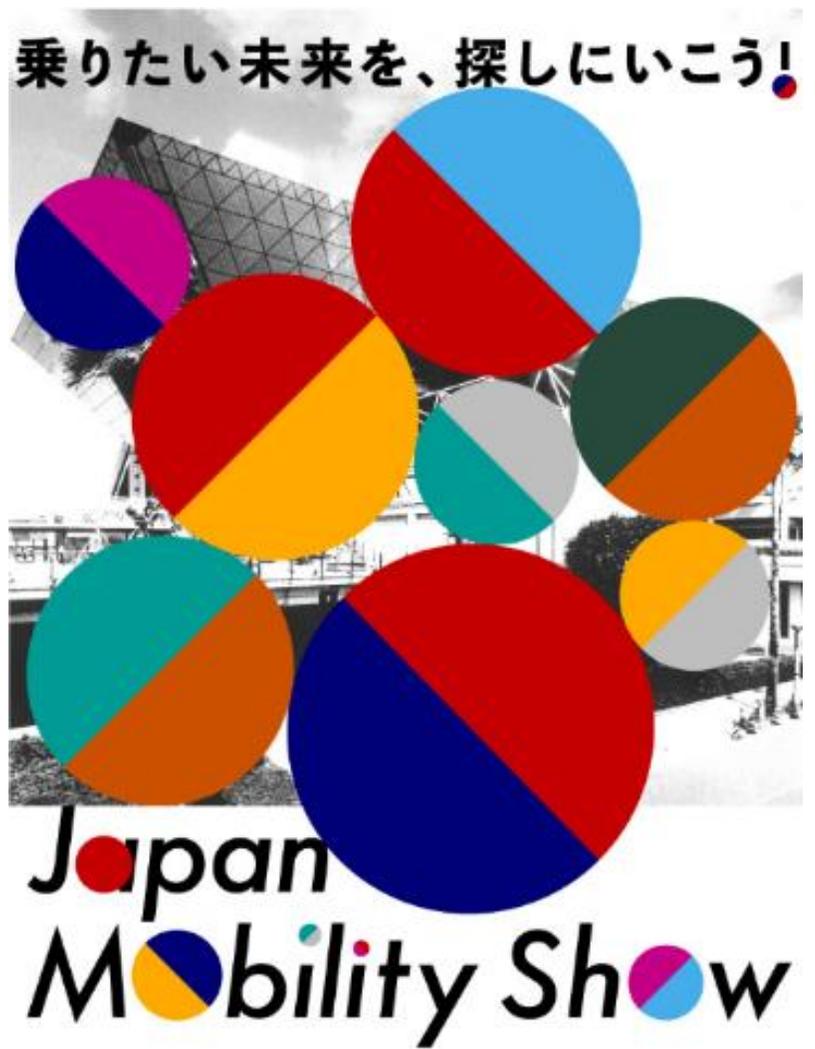
後藤国務大臣





■ ジャパンモビリティショー(JMS)2023 盛り上げ・協力の状況

< 一般公開：10/28（土）～11/5（日） >



- 関係先への入場チケットの配布
- 全国専務理事会による展示視察
- 「自動車整備人材確保・育成推進協議会」
展示ブースへの会議所スタッフ派遣協力
- 自動車会議所ニュース8・9月号でのJMS
チケット販売告知
- 日刊自制作JMSガイドブックへCSP大賞
募集広告の掲載
- 日刊自ブースでのCSP大賞ポスター貼付・
パンフレット配布の協力

■「第3回（2023年度）クルマ・社会・パートナーシップ大賞」の実施
～日本自動車会議所感謝表彰～



- 日本自動車会議所が1946年（昭和21年）から創立75周年の節目となる2021年に第1回を実施
- 昨年第2回より経産省・国交省・JAF・自動車総連の後援をいただく

主 催

日本自動車会議所（全163会員）
日刊自動車新聞社

後 援

経済産業省・国土交通省・日本自動車連盟(JAF)・全日本自動車産業労働組合総連合会（自動車総連）

目 的

自動車業界で働く人々や、自動車ユーザーを含めた自動車にかかわる全ての方々が、わが国の社会や自動車業界に果たしている貢献に対して、「ありがとう」と感謝の意を伝える

表彰を通じて、それぞれの貢献の取り組みにあらためて注目を集め、認知を広げることで、同じような取り組みが拡大していく一助とする

応募対象

日々の業務・活動をベースにしながら、以下(1)～(4)のいずれかの分野に実際に取り組む自動車業界で日々の業務・活動 働く方々や自動車ユーザー（原則として国内における取り組みが対象）

- (1)モビリティに関する課題や、モビリティの手段を通じた社会課題の解決に取り組んでいる。（例：交通安全、公共交通、MaaS等）
- (2)地域や自治体と協働・連携し、地域活性化に取り組んでいる（含:災害・緊急時）
- (3)SDGs目標達成につながる取り組みを行っている（含:教育、健康、福祉）
- (4)ユーザーとして自動車を大切に取り扱い、性別や年齢等に関わらず幅広い層から評価されうる取り組みを行っている

受賞構成

選考委員会が行う応募内容の厳正・公正な審査により、大賞ならびに大賞に準ずる部門賞・各賞を選定（受賞数・詳細は選考委員会が決定）

関連日程

(実績)

- (1)23年 9月5日 応募開始
- (2) 11月20日 応募締切
- (3) 年内 選考委員会による受賞者選定
- (4)24年 1月15日 受賞者公表
2月 9日 表彰式 開催都内会場で当会議所会長より表彰状授与

第3回CSP大賞選考委員

(敬称略)



委員長 鎌田 実 東京大学名誉教授 (一財) 日本自動車研究所 所長



関根 千佳 (株)ユーディット 会長兼シニアフェロー



森 摂 (株)オルタナ 代表取締役社長 「オルタナ」編集長



加藤 和夫 (一社) 日本自動車販売協会連合会 理事相談役



田口 亜希 (公財) 日本財団パラスポーツサポートセンター
推進戦略部ディレクター



主催者事務局 山岡 正博 (一社) 日本自動車会議所専務理事

主催者事務局 花井 真紀子 (株)日刊自動車新聞社代表取締役社長

応募増に向けて 前回に続きパンフレット（見開き4ページ）2万部用意

応募促進記事1面（日刊自10/2付）も掲載



第3回 CSP大賞2023

第3回 クルマ・社会・パートナーシップ大賞 ご応募のお願い



応募期間

2023年9月5日(火)~11月20日(月)

主催 一般社団法人日本自動車会議所 / 株式会社日刊自動車新聞社

後援 経済産業省 / 国土交通省 / 一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)
全日本自動車産業労働組合総連合会 (自動車総連)

ご挨拶

日本自動車会議所が創立75周年記念事業として創設したクルマ・社会・パートナーシップ大賞は、今年度第3回となることになりました。

自動車産業で働く550万人や、自動車に携わっておられる方々の地道な活動や貢献にスポットを当てたいという思いがありました。自動車産業に関連する表彰制度はいくつもあり、本賞は、必ずしもそうした表彰制度が対象としない、むしろ地域や社会を支えている地道な取り組み、人々の生活を大切に使い育てていただいている特色ある活動などに」と感謝を伝えるものです。

新型コロナウイルスの感染拡大によって「エッセンシャルワーカー」が認識され、この方々たちの頑張りがなくては、社会が回っていきづかされることになりました。本賞を通じて、そうした頑張っている方々を社会全体として感謝するとともに、こう世の中に大きく広がっていきかけになればと期待して

たび第2回の開催を通じて、いずれも創設の思いにふさわしく数多くいただき、主催者一同、素晴らしい取り組みを知りました。あらためて感謝申し上げます。これからも本賞を通じた取り組みを皆さんと共有し、世の中へ広げていきたいと思います。

クルマ・社会・パートナーシップ大賞にも、たくさんのご応募お待ちしております。ご自身によるご応募はもちろんのこと、身近に行われている素晴らしい取り組みにも是非応募の声をかけますよう、重ねてお願い申し上げます。

※(敬称略 順不同 所属・肩書は2023年8月現在)



表取締役社長 野村 文吾 様
副社長 柴田 隆夫 様
委員 森 研 様
委員 加藤 和夫 様
委員 田口 憲希 様
代表取締役社長、(株)オークネット (東京都品川 / ネットヨカタ) / (一社) 長野県自動車販売協会 (長野県長野市) / トヨタ販売 (株) / FORSHU (イオングループ) / NCP (日本自動車リサイクル事業協同組合) (東京都山形市) / 山形県自動車販売 (株) (山形県山形市) / 東京都市中央 (株) (大阪府豊中) / (株) CN ホールディングス (千葉県千葉市) / カヤック (株) 野村総合研究所 (東京都港区) / やまみち交通運営協議会 (東京都町田市)

トナーシップ大賞 受賞事業一覧

30 事業より選定)

MG モビリティ研究所
リをベースとしたアナログ車載型の Maas 実験的試活動]

1年 500 台以上の車イスを修理する 26 年にわたる活動]

見や被災被災者への車中泊に関する啓発活動の取り組み]

見製作所、札幌がエーエー (株)、(株) サン自動車工業
ール (株)

を全てのドライバーへ無料提供するなど交通安全への貢献]

用品などの興・物代行サービス「ジメヨカタ」の開発]

ランドセルの寄贈を行う「ランド」の取り組み]

託児所の開設や各種イベント開催など地域に貢献する活動]

ご賞状交付への助成を行う 30 年以上にわたる活動の継続]

賞を誇る「グリーン・エコプロジェクト」の取り組み]

・利用者双方の安全安心に寄与し地域に貢献する諸活動]

のづくりを学ぶ 20 年にわたる人材育成活動の継続]

を除く、★は共同応募事業者)

社 (鹿児島県鹿児島市) / (株) オークネット (東京都品川 / ネットヨカタ市) / (一社) 長野県自動車販売協会 (長野県長野市) / トヨタ販売 (株) / FORSHU (イオングループ) / NCP (日本自動車リサイクル事業協同組合) (東京都山形市) / 山形県自動車販売 (株) (山形県山形市) / 東京都市中央 (株) (大阪府豊中) / (株) CN ホールディングス (千葉県千葉市) / カヤック (株) 野村総合研究所 (東京都港区) / やまみち交通運営協議会 (東京都町田市)

表取締役社長 野村 文吾 様
副社長 柴田 隆夫 様
委員 森 研 様
委員 加藤 和夫 様
委員 田口 憲希 様
代表取締役社長、(株)オークネット (東京都品川 / ネットヨカタ) / (一社) 長野県自動車販売協会 (長野県長野市) / トヨタ販売 (株) / FORSHU (イオングループ) / NCP (日本自動車リサイクル事業協同組合) (東京都山形市) / 山形県自動車販売 (株) (山形県山形市) / 東京都市中央 (株) (大阪府豊中) / (株) CN ホールディングス (千葉県千葉市) / カヤック (株) 野村総合研究所 (東京都港区) / やまみち交通運営協議会 (東京都町田市)



▲各受賞事業の詳細はこちらへ

募集概要

を含めた自動車にかかわる全ての
ている貢献に対して、「ありがとう」

：あらためて注目を集め、認知を広げ
く一助とする。

：のいずれかの分野に実際に取り組む自動
する取り組みが対象)

：課題の解決に取り組んでいる。

る (急:災害・緊急時)
、健康、福祉)

見わず幅広い層から評価される

正な審査により、大賞ならびに大賞に準ず
選考委員会が決定)

影

1年1月上旬 24年2月上旬

受賞者公表 東京都内で
表彰式開催

社のホームページ (HP) にある本賞のページに
ご返信ください。

tps://www.aba-j.or.jp/
tps://www.netdenjd.com/
ルで受け付けています。
iba-j.or.jp

or.jp/partner/



豊田合成 車イスドクターズ
豊田合成が、車イスユーザーの生活をサポートする「車イスドクターズ」を全国展開している。この取り組みは、車イスユーザーの移動をサポートし、社会参加を促進することを目的としている。

新入社員など新たな参加者が増加
豊田合成の「車イスドクターズ」は、新入社員を中心に、新たな参加者が続々と集まっている。これは、社会貢献活動への関心が高まっていることの一環として行われている。

他地域での活動説明が行いやすく
豊田合成の「車イスドクターズ」は、他地域での活動説明がスムーズに行われている。これは、地域との連携が強化されていることの一環として行われている。

ドライバーたちが「仕事に誇り」
豊田合成の「車イスドクターズ」は、ドライバーたちが仕事に誇りを感じている。これは、社会貢献活動を通じて、ドライバーの意識が向上していることの一環として行われている。

第3回 クルマ・社会・パートナーシップ大賞
応募期間 2023年9月5日(火)~11月20日(月)



二度にわたり応募促進協力依頼文書を発信（9月15日・11月2日）

日自会発第 23026 号
2023 年 9 月 15 日

理事・監事各位
会員代表者各位
運営審議委員各位

一般社団法人 日本自動車会議所
会長 内山田 竹志

第3回（2023年度）クルマ・社会・パートナーシップ大賞（CSP大賞）

貴業界・団体、貴社からの応募促進のお願いについて

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より当会議所の事業活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、このたび当会議所は、「自動車会議所ニュース8・9月号」でもご案内のとおり、第3回となる表彰制度「クルマ・社会・パートナーシップ大賞（CSP大賞）」の募集を開始しております。
本CSP大賞は、自動車業界において、日々の職場・現場をベースにしながら、わが国の社会や自動車産業・文化の発展に努力・貢献されている方々の取り組みに「ありがとう」と感謝を伝え、それぞれの取り組みが世の中にさらに広がっていくことの一助にとの思いを込めて、2021年に創設に至ったものです。
皆さまの業界や社内におかれましても、地道にこうした取り組み・活動に励まれている多数の方々がいらっしゃるかと存じます。
是非この機会に本賞をご活用いただき、皆さまの業界・団体や社内において、応募に向けたお声がけなど、積極的な応募促進にご協力を賜りたくご依頼申し上げます。
なお、これまでの本CSP大賞の受賞者の皆さまにも大変喜んでいただいております。
第三者からの推薦も可能でございますので、ご理解・ご協力のほど、宜しく御願申し上げます。

【再度のお願い】

日自会発第 23028 号
2023 年 11 月 2 日

理事・監事各位
会員代表者各位
運営審議委員各位

一般社団法人 日本自動車会議所
会長 内山田 竹志

第3回（2023年度）クルマ・社会・パートナーシップ大賞（CSP大賞）

貴業界・団体、貴社からの応募促進のお願いについて

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より当会議所の事業活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当会議所は、既にご案内のとおり、第3回「クルマ・社会・パートナーシップ大賞（CSP大賞）」の募集を開始しており、徐々にではございますが、ご応募も集まってきております。改めまして、これまでの皆さまのご協力に感謝申し上げます。
本CSP大賞は、自動車業界において、日々の職場・現場をベースにしながら、わが国の社会や自動車産業・文化の発展に努力・貢献されている方々の取り組みに「ありがとう」と感謝を伝え、それぞれの取り組みが世の中にさらに広がっていくことの一助にとの思いを込めて、2021年に創設に至ったものです。
皆さまの業界や社内におかれましても、地道にこうした取り組み・活動に励まれている多数の方々がいらっしゃるかと存じます。また、CSP大賞受賞者の皆さまにも大変喜んでいただいております。
つきましては、11月20日（月）の募集締め切りも近づいてまいりましたので、今一度皆さまの業界・団体や社内において、応募に向けたお声がけなど、積極的な応募促進に、一層のご支援・ご協力を賜りたく、再度お願い申し上げます。
なお、第三者からの推薦も可能でございますので、ご理解・ご協力のほど、よろしく御願申し上げます。

9/22



日本自動車会議所 @abaorjp · 9月22日
📷 今日の1枚 📷

#日本自動車会議所の表彰制度「第3回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」(#CSP大賞)のポスターが日本自動車会館(東京・芝大門)にお目見えしました!!
会館内で働く職員の方々からも注目を集めています**11月20日まで募集中です。
応募はこちら→aba-j.or.jp/partner/



日本自動車会議所 @abaorjp · 9月22日



9/28

日本自動車会議所 @abaorjp · 9月28日
📷 今日の動画 📷

#日本自動車会議所の表彰制度「第3回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」(#CSP大賞)の動画が日本自動車会館11階レベーター内等のNBFビジョンで放映されています📺
40秒間、分かりやすい内容になっており、募集は11月20日までです!!
応募はこちらから→aba-j.or.jp/partner/



🗨️ 1 🔄 2 ❤️ 13 📊 2,668 📤

日本自動車会議所 @abaorjp · 9月28日



🗨️ 🔄 ❤️ 5 📊 208 📤

10/3

日本自動車会議所 @abaorjp · 10月3日
📷 今日のホームページ →aba-j.or.jp

「新着情報」を3日、刷新しました。①「第3回 #CSP大賞」多くの取り組みに感謝をこめて/3事例の受賞後の進捗紹介②「#東京オートサロン2024」/来年1月に帯張メッセで開催-等です。

#クルマ好き #交通安全 #自動車卒業



主催 一般社団法人日本自動車会議所/株式会社日産自動車販売社
後援 経済産業省/国土交通省/一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
全日本自動車産業労働者総連合会(自動車労連)

ご応募の詳細につきましてはこちらからダウンロード
<https://www.aba-j.or.jp/partner/>

🗨️ 🔄 ❤️ 6 📊 222 📤



9/28

日本自動車会館 5日

今日のニュース『#CSP大賞』

日本自動車会館の表彰制度「第3回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」(CSP大賞)の応募ポスター・動画が9月、日本自動車会館(東京・芝大門)にお目見えしました。

動画は、自動車会館工しペーター内等にあるNBFビジョンで40秒間、分かりやすい内容で放映されており、ポスターとともに会館内で働く職員の方々からも注目を集めています。

CSP大賞は9月5日から募集を開始、募集期間は11月20日までの約2カ月半です。今回も引き続き、経済産業省、国土交通省、日本自動車連盟(JAF)、全日本自動車産業労働組合総連合会(自動車総連)から後援いただいています。

全国各地の皆さまからのご応募お待ちしております。

応募はこちら→<https://aba-j.or.jp/partner/>
詳しくはこちら→<https://www.aba-j.or.jp/jidoshakaikan/news/450/>



第3回 クルマ・社会・パートナーシップ大賞

**自動車産業で働く550万人や、
自動車に携わっておられるユーザーの方々の
日ごろの地道な活動や貢献にスポットを
当てたいという思いで
2021年にスタートしました。**

この投稿を¥3,500で宣伝することで、最大991人にリーチできます。 [投稿を宣伝](#)

山岡正博、他3人 シェア3件

いいね! コメントする シェア

コメントを入力...
▲ 黒山 太作としてコメントしています。

10/3

日本自動車会館 1日

今日のHP『#自動車産業』

「新着情報」を3月、更新しました。①「第3回CSP大賞」多くの取り組みに感謝をこめて/3事例の受賞後の進捗紹介②神奈川県自動車会館/「自動車なんでも無料相談所」11月開設〜等々。

詳しくはこちら
→<https://www.aba-j.or.jp>
→<https://www.youtube.com/watch?v=uuDSvDNI244&feature=youtu.be>



第3回 CSP大賞2023

**第3回 クルマ・社会・パートナーシップ大賞
ご応募のお願い**

応募期間 **2023年9月5日(火)~11月20日(月)**



この投稿を¥3,500で宣伝することで、最大450人にリーチできます。 [投稿を宣伝](#)

あなた、山岡正博、他5人 シェア1件

いいね! コメントする シェア

コメントを入力...
▲ 黒山 太作としてコメントしています。

第3回応募結果概要



○応募件数は62件（第2回：68件 第1回：75件）

○応募事業者別では自動車ディーラー・流通関係、自動車部品・用品メーカー関係が多い

第3回(2023年度)

応募事業者（メイン）業界別	件数	()…うち会議所 会員
自動車（完成車）メーカー	2	(2)
自動車部品・用品メーカー関係	15	(8)
自動車ディーラー・流通関係	21	(2)
トラック・物流関係	3	(1)
旅客運輸関係	3	(1)
自動車整備関係	3	
その他（保険・教習所・行政等）	15	(4)
合計	62	(19)

第2回(2022年度)

応募事業者（メイン）業界別	件数	()…うち会議所 会員
自動車（完成車）メーカー	2	(2)
自動車部品・用品メーカー関係	17	(12)
自動車ディーラー・流通関係	20	(3)
トラック・物流関係	5	(3)
旅客運輸関係	1	
自動車整備関係	2	
その他（保険・観光・ジャーナリスト等）	20	
合計	68	(20)

※分類は事務局による暫定のもの
18



I 大賞・選考委員特別賞・部門賞 13受賞者 (グッドパートナーシップ25事業より選定)

1. 大賞

2008年より続く小学生に自動車を支える科学技術やモノづくりを学ぶ機会を無償で提供する「キッズエンジニア」の取り組み

(公社)自動車技術会
(東京都千代田区)



2. 選考委員特別賞

度重なる園児置き去り事故を受けて通園バスを利用して園児達にクラクション体験を学んでもらう交通安全教室の実施・展開

(株)はちどり
(愛知県安城市)





3. 部門賞

(1) モビリティ・ソリューション賞

<p>創立60年を迎えた自動車教習所が地域の交通安全教育センターとして子供達への幅広い交通安全教育や行政連携を進める諸活動</p>	<p>(株)大宮自動車教習所 (さいたま市見沼区)</p>
---	-----------------------------------



<p>子供が描く絵やメッセージをトラックの背面にラッピングするなどの活動により交通安全啓発が全国に拡大している取り組み</p>	<p>(一社) こどもミュージアムプロジェクト協会 (大阪府茨木市)</p>
---	--



<p>地域の高齢者が主役となって電動カート車両を運行し地域を支えるグリーンスローモビリティ地域推進事業</p>	<p>松戸市 (千葉県松戸市)</p>
---	-------------------------





(2) 地域・コミュニティ活性化賞

警視庁との災害時における給電車両貸与協定に基づく都内各警察署との防災活動や信号機への給電訓練を実施するなどの諸活動

トヨタモビリティ東京(株)
(東京都港区)



自動車関連企業ならではの地域貢献として地元公的機関と連携し茨城県内の小学校に森を創るなどの諸活動

(株)ナオイオート
(茨城県取手市)



事業拠点のある木更津市との協定に基づく地域活性化に向けた広範で継続的な地域パートナーシップ活動

ポルシェジャパン(株)
(東京都港区)





(3) SDGs貢献賞

自動車販売会社などから出る廃オイルの再生重油を利活用した実質CO ₂ 排出ゼロの資源循環型農業を目指す取り組み	GNホールディングス(株) (群馬県前橋市)
--	---------------------------



1969年からのトヨタ自動車の未就学児向け交通安全啓発絵本の制作と、以来地域の系列全販社が県内全幼稚園・保育園などに絵本を贈呈している活動の共同の取り組み	トヨタ自動車(株) (東京都文京区) 静岡県オールトヨタ販売店グループ (静岡市葵区)
---	---



地域の小学校に対して専門性のある福祉車両や同乗する車いすの体験授業を通して共生社会に向け生徒の気づきを促す取り組み	ウエイズトヨタ神奈川(株) -トヨタハートフルプラザ横浜- (横浜市中区)
---	---



(4) 自動車ユーザー連携賞

交通安全対策の一環として地元の法人の福利厚生制度に自動車点検を加えてもらい、社員の通勤車を出張して点検する取り組み

トヨタカローラ香川(株)
(香川県高松市)



地域の自動車文化醸成および整備技術伝承・人材育成を目的とした自動車博物館運営とレストアに関する諸活動

奈良トヨタ(株)
(奈良県奈良市)



II 「グッドパートナーシップ事業」受賞者

※大賞・選考委員特別賞・各部門賞を除く



<p>定期的に地域の自動車関係団体が連携して自動車の点検整備・税金・交通事故・保険などあらゆる相談ができる「自動車なんでも相談所」実施の取り組み</p>	<p>(一社) 愛知県自動車会議所 (名古屋市昭和区) (一社) 神奈川県自動車会議所 (横浜市都筑区)</p>
<p>県内の小学生から募集した絵をトラックの荷台カバーにペイントするなど「夢を運ぶトラックデザインコンテスト」の取り組み</p>	<p>(一社) 神奈川県トラック協会 (横浜市港北区)</p>
<p>高齢運転者の交通安全をサポートするため運転ヘルスチェックのプログラムを作成し地元警察とも連携し拡大を図る取り組み</p>	<p>神奈川トヨタ自動車(株) (横浜市神奈川区)</p>
<p>人と自然と車がいつまでも走り続ける社会を目指し環境配慮型農業の取り組みや食育事業を通じて地域活性化を図る諸活動</p>	<p>岐阜トヨペット(株) (岐阜県岐南町)</p>
<p>水を大量消費する洗車機のメーカーとして水に関する地域貢献となる名古屋城の堀の水質浄化から始め今後拡大を図る取り組み</p>	<p>タケウチビューター(株) (名古屋市港区)</p>
<p>貴重なイリオモテヤマネコをクルマの脅威から守るためスマートフォンのアプリなどを活用して安全運転行動を高める諸活動</p>	<p>デンソー(株) (愛知県刈谷市)</p>



自社施設を新設した鉱山跡地における自治体・地域と協働・連携した緑地の復元など環境保全に関する諸活動	トヨタ紡織(株) (愛知県刈谷市)
東日本大震災・原発被災後さらなる高齢化が進む福島県浪江町におけるデマンド型乗り合いサービスなど公共交通確保の取り組み	日産自動車(株) (横浜市西区)
東日本大震災後に地域の子供達のため防災林植林や伝統的な祭りなどへの体験活動を企画運営する「そらっこくらぶ」の取り組み	ネットトヨタ仙台(株) (仙台市宮城野区)
通常ダンプトラックより2倍の荷物を積み安全性能も高めた高効率コンパクトトレーラダンプの開発による物流諸課題への対応	(株)花見台自動車 (福島県いわき市)
伊豆・小笠原諸島における自然災害に伴う停電対策として中古軽自動車EVや外部給電器の供給などにより住民を支援する取り組み	東日本三菱自動車販売(株) (東京都目黒区)
車いすユーザーにレンタル・リースやサブスクを通じて個人用の福祉車両の普及を図る「福祉車両コンシェルジュ」の取り組み	(株)ミズタニ (京都市南区)

<表彰式概要>

(1) 日時：2月9日（金）15：00～16：30 （終了後 交流会開催 ～17：30 目途）

(2) 場所：第一ホテル東京 4階プリマヴェーラ（東京都港区新橋1-2-6）

(3) 出席者：○自動車会議所内山田会長・日刊自花井社長
○鎌田選考委員長・各選考委員
○大賞・選考委員特別賞・各部門賞受賞者 →表彰状授与対象者
○グッドパートナーシップ事業受賞者
○後援官庁・団体
○会議所役員（監事1名）・理事団体事務局

会場出席 計80名
(同行者含む)

(4) 次第：(1) 主催者代表挨拶 <内山田会長>
(2) 選考委員長講評 <鎌田選考委員長>
(3) 受賞事業の紹介 <山岡選考委員>
(4) 表彰状・副賞授与 <内山田会長> →副賞は盾（日刊自動車新聞作成）
(5) 選考委員コメント <加藤委員>
(6) 受賞者代表プレゼンテーション <大賞受賞者(自動車技術会)>
(7) 閉会挨拶 <日刊自花井社長>

(終了後 記念撮影→5階交流会会場に移動)

司会=日刊自動車新聞社

		会場出席 (計80名)	オンライン出席
選考委員		委員長 鎌田 実 加藤和夫・関根千佳・森撰・田口亜希・花井真紀子・山岡正博	
大賞	自動車技術会	会長 大津 啓司	
選考委員特別賞	はちどり	代表取締役 石原 慧子	
モビリティ・ソリューション賞	大宮自動車教習所	社長 加藤 慎也	
	こどもミュージアム・プロジェクト協会	代表理事 宮田 博文	
	松戸市	市長 本郷谷 健次	
地域・コミュニティ活性化賞	トヨタモビリティ東京	社長 佐藤 康彦	
	ナオイオート		社長 直井清正
	ポルシェジャパン	社長 フィリップ・フォン・ヴィッツェンドルフ	
SDGs貢献賞	GNホールディングス	財務部主任 白石彩香	
	トヨタ自動車 静岡県オールトヨタ販売店 グループ	社会貢献推進部長 井上 武 トヨタユナイテッド静岡 社長 榎谷 安城 ネットトヨタ静岡 社長 竹林 栄吉	
	ウエインズトヨタ神奈川	まちいちばん支援部 部長 宮石 真希子	
自動車ユーザー連携賞	トヨタカローラ香川	社長 向井 良太郎	
	奈良トヨタ	専務取締役 小南 敏美	
グッドパートナーシップ事業受賞者		12事業者 (18名)	3事業者 (4名)
後援官庁・団体		経産省自動車課三木課員 J A F 酒井理事・自動車総連金子会長・並木事務局長	国交省 (2名)
会議所役員			監事 原典之
会議所理事団体(代表者記載)		自工会永塚副会長・自販連田中常務理事・部工会大下副会長・日整連西本常務・輸入組合入野副理事長	

<交流会概要>



(1) 日 時：2月9日（金） 16：30（表彰式終了後）～ 1時間程度

(2) 場 所：第一ホテル東京 5階ラ・ローズ1

(3) 出席者：表彰式会場出席者の皆さん（同行者等含め約80名）

○内山田会長・花井社長

○選考委員

○全受賞者・同行者

○後援官庁・団体

○会議所理事団体事務局

(4) 次 第：(1) 開会

(2) 交流・歓談

(3) 中締め挨拶

<司 会>

(途中受賞者コメント)

<会議所山岡専務理事>

進行=日刊自動車新聞社

表彰式・交流会の様相(第3回C S P大賞)



表彰状を受け取る自技会大津会長



挨拶するはちどり
石原代表取締役



挨拶するはちどり ステージ上の記念撮影 本郷谷松戸市長
(左から二番目)



大賞受賞プレゼンテーションと会場の様子



選考講評を行う鎌田選考委員長
(上) と加藤選考委員



受賞者全員と主催者代表との記念撮影



交流会：ポルシェジャパン・ヴィッツェ
ンドルフ社長と内山田会長（一番右）



(参考：C S P大賞全3回の受賞者一覧)

第1回(21年度)

大賞	茨城県境町
モビリティ・ソリューション賞	日本交通
地域・コミュニティ活性化賞	赤碕ダイハツ
SDGs貢献賞	タウ
自動車ユーザー連携賞	日本カーシェアリング協会
特別賞	第一交通産業
	前野モータース
グッドパートナーシップ事業受賞者 19	

上位賞数 7

第3回(23年度)

大賞	自動車技術会
選考委員特別賞	はちどり
モビリティ・ソリューション賞	大宮自動車教習所
	こどもミュージアム・プロジェクト協会
地域・コミュニティ活性化賞	松戸市
	トヨタモビリティ東京
	ナオイオート
SDGs貢献賞	ポルシェジャパン
	トヨタ自動車 静岡県オールトヨタ販売店グループ
自動車ユーザー連携賞	ウエインズトヨタ神奈川
	トヨタカローラ香川 奈良トヨタ
グッドパートナーシップ事業受賞者 25	

上位賞数 13

第2回(22年度)

大賞	十勝バス
選考委員特別賞	豊田合成
モビリティ・ソリューション賞	トヨタ自動車
	ソニー損害保険
地域・コミュニティ活性化賞	トヨタモビリティ東京
	ホンダカーズ東総
	栃木トヨタ自動車
SDGs貢献賞	日本自動車販売協会連合会
	東京都トラック協会
自動車ユーザー連携賞	神奈川トヨタ自動車
	自動車技術会
グッドパートナーシップ事業受賞者 30	

上位賞数 11



2) 税制

自民党自動車議連役員名簿

(2023.12.6現在 順不同・敬称略)

最高顧問	額賀福志郎
顧問	衛藤征士郎 二階俊博
会長	甘利明
会長代理	塩谷立
副会長	石破茂 森英介 山本有二 林芳正 渡辺博道 西村康稔 世耕弘成
幹事長	茂木敏充
幹事長代理	梶山弘志 小淵優子 宮沢洋一
常任幹事	村上誠一郎 林幹雄 石田真敏 西村明宏 奥野信亮 盛山正仁 笹川博義 山下貴司 井林辰憲 佐藤信秋 片山さつき 阿達雅志
事務局長	山際大志郎
事務局次長	福田達夫 山本左近 青木一彦

自民党自動車議員連盟への対応 (1)

<自動車政策懇談会(12月1日)>

内山田会長から税制抜本見直しに向けた議論の促進等を要望
議連総会では甘利新会長・塩谷会長代理・茂木新幹事長が出席



15団体出席・税制要望説明
議員本人118名出席



甘利明新会長



塩谷立会長代理



茂木敏充新幹事長



2) 税制

■自民党自動車議員連盟への対応 (2)

<甘利明 自動車議連会長の講演・意見交換>
(第2回税制委員会 (2月15日))



意見交換の最後にまとめの挨拶を行う内山田会長
一番左は佐藤税制委員長

- 甘利議連会長より「自動車業界を取り巻く課題や税制改革について」講演の後、意見交換。
- 甘利会長からのメッセージ骨子：
 - ・カーボンニュートラル・GXの観点から次代にふさわしい税制の見直しを考える必要があり、その時が来ている
 - ・環境負荷とともに、どうしても道路インフラへの負荷の課題をどうするか議論は避けて通れない
 - ・国税よりも地方税が財政制約が大きく対応が難しい
- 会議所内山田会長より今後意見交換の場を増やしていくことが提案され閉会



第2回税制委員会
(円内は講演する甘利議連会長)



税制部会(9/12)・税制委員会(9/28)審議を経てとりまとめ。
関係官庁・議連幹部等に配布

2024年度(令和6年度)
税制改正等に関する要望書

2023年10月

一般社団法人 日本自動車会議所

一般社団法人 日本自動車会議所

- 一般社団法人 日本自動車工業会
- 一般社団法人 日本自動車部品工業会
- 一般社団法人 日本自動車車体工業会
- 一般社団法人 日本自動車タイヤ協会
- 一般社団法人 日本自動車販売協会連合会
- 一般社団法人 全国軽自動車協会連合会
- 一般社団法人 日本自動車輸入組合
- 一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会
- 一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会
- 公益社団法人 全日本トラック協会
- 公益社団法人 全国通運連盟
- 公益社団法人 日本バス協会
- 一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会
- 一般社団法人 全国家用自動車協会
- 一般社団法人 日本損害保険協会
- 一般社団法人 石油連盟
- 一般社団法人 全国レンタカー協会
- 一般社団法人 日本自動車リース協会連合会
- 一般社団法人 日本二輪車普及安全協会
- 一般社団法人 自動車用品小売業協会
- 一般社団法人 東京都自動車会議所
- 一般社団法人 愛知県自動車会議所
- 一般社団法人 日本自動車機械工具協会
- 一般社団法人 全国自動車標板協議会
- 一般社団法人 自動車検査登録情報協会
- 一般社団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会
- 一般社団法人 自動車公正取引協議会
- 一般社団法人 日本自動車車体整備協同組合連合会
- 一般社団法人 日本陸送協会
- 一般社団法人 日本自動車機械器具工業会
- 一般社団法人 日本自動車運行管理協会
- 一般社団法人 日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会
- 一般社団法人 日本中古車輸出業協同組合
- 一般社団法人 全国オートバイ協同組合連合会
- 一般社団法人 全日本自動車部品卸商協同組合
- 一般社団法人 日本自動車購入協会
- 一般社団法人 全国自動車会議所連絡協議会

(順不同)

■今後のモビリティ社会を見据えた税制のあり方を議論

1. 2050年カーボンニュートラル実現に向けた税制抜本見直し
 - ①2050年カーボンニュートラル実現のためには、自動車の枠にとどまらない幅広い議論が求められます。モビリティがもたらす新たな経済的・社会的受益者の拡がりを踏まえ、負担軽減・簡素化を前提に、受益と負担の関係を再構築し、税体系を抜本的に見直すべきです。
 - ②電動化などに伴う収税減を安易に自動車ユーザーに求めるのではなく、電動車の普及に資する税体系を前提に、公平な税負担となるよう検討すべきです。
2. 車体課税の抜本見直し
 - ①自動車重量税の将来的な廃止を目指し、まずは「当分の間税率」の廃止
 - ②自動車税・軽自動車税の環境性能割は、消費税との二重課税であり廃止
3. 燃料課税の抜本見直し
 - ①ガソリン税、軽油引取税に上乗せされたままの「当分の間税率」の廃止
 - ②ガソリン税・石油ガス税等のTax on Taxの解消
4. 喫緊に対処すべき見直し
 - ①物流総合効率化法に基づく特例措置の延長
 - ②バリアフリー車両に係る特例措置の拡充・延長
 - ③動力を持たない被牽引車(トレーラー)への環境性能割の課税は即刻廃止
 - ④営業用自動車の軽減措置の維持

■自動車関係予算に関わる要望

- ①クリーンエネルギー自動車(CEV)導入促進補助金の拡充・延長
- ②商用電動車(トラック・バス・タクシー等)補助金の拡充・延長
- ③充電インフラ設備・V2H/外部給電器補助金・水素ステーション設備への支援



2) 税制

■JAF・税制改革フォーラム活動

■自民党・公明党ヒアリングへの対応 (10-11月)

会議所税制改正要望書に基づき、自動車税制の抜本的見直しや重要要望項目を説明



自民党国土交通部会(10/30)



公明党自動車議員懇話会(11/15)

8月3日、東京港区のJR田町駅前で4年ぶりとなる自動車ユーザの税負担軽減を訴える街頭活動を実施



X (旧ツイッター) 上で、キャラクター「カー太」くんが、マンガ形式で、クルマの税金の不合理を訴える(4年目)。12月中に計10回投稿を実施。毎回閲覧総数は数千~1万近くに達し、最多では2万4千を超えた。



1万回近く閲覧された「走行距離課税反対」の投稿

「ユーザーの声を集める活動」を引き続き展開し、実際にユーザーに書いていただいた実物パネル約90枚を日本自動車会館1階エントランスホールにて展示中。
(2023.11.15~)



90枚の直筆パネルを展示 34

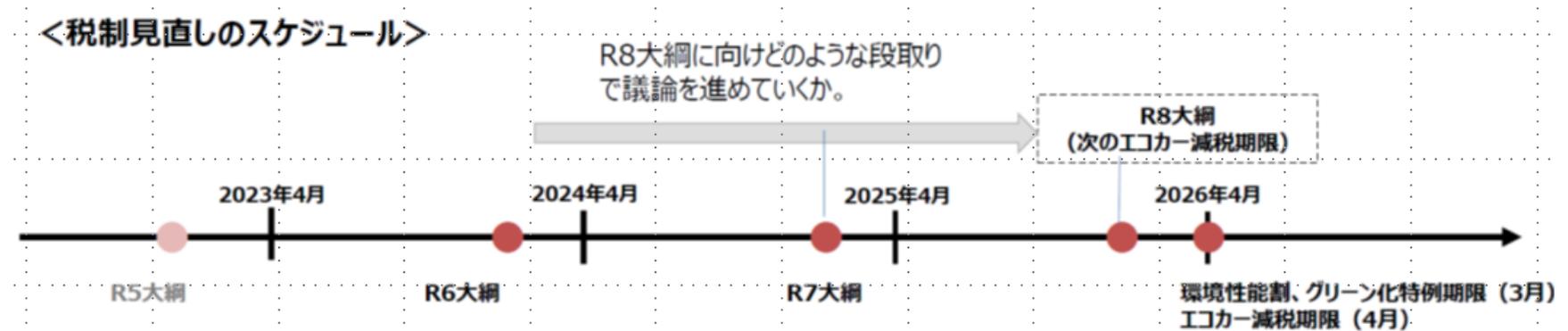
令和6年度（2024年度）税制改正大綱 要望結果について（検討事項）

与党税制改正大綱「検討事項」の中で、あらためてカーボンニュートラル・電動化等を踏まえたポストエコカー減税（2026年～）の税制抜本見直しに向けた継続検討が堅持

自動車関係諸税の見直しについては、日本の自動車戦略やインフラ整備の長期展望を踏まえるとともに「2050年カーボンニュートラル」目標の実現に積極的に貢献するものでなければならない。その上で、自動車の枠を超えたモビリティ産業の発展に伴う経済的・社会的な受益者の広がりや保有から利用への移行、地域公共交通へのニーズの高まり、CASEに代表される環境変化にも対応するためのインフラの維持管理・機能強化の必要性等を踏まえつつ、国・地方を通じた財源を安定的に確保していくことを前提に、受益と負担の関係も含め、公平・中立・簡素な課税のあり方について、中長期的な視点に立って検討を行う。

その際、電気自動車等の普及や市場の活性化等の観点から、原因者負担・受益者負担の原則を踏まえ、また、その負担分でモビリティ分野を支え、産業の成長と財政健全化の好循環の形成につなげるため、利用に応じた負担の適正化等に向けた具体的な制度の枠組みについて次のエコカー減税の期限到来時までには検討を進める。

また、自動車税については、電気自動車等の普及等のカーボンニュートラルに向けた動きを考慮し、税負担の公平性を早期に確保するため、その課税趣旨を適切に踏まえた課税のあり方について、イノベーションへの影響等の多面的な観点も含め、関係者の意見を聴取しつつ検討する。



図出典：経済産業省



3) 交通安全

交通安全。アクション2023新宿(4/8-9) 開催結果概要

43の団体・企業などが参画。2日間で4,600人が来場
ステージプログラム・12の体験型ブースを用意

- 【開催日】
2023年4月8日(土)・9日(日)
- 【開催場所】
新宿駅西口広場イベントコーナー
- 【主催】
日本自動車会議所・警視庁新宿警察署

【後援】
内閣府、警察庁、国土交通省、東京都、警視庁

【協力】
会議所会員など43団体・企業

【開催目的・テーマ】
高齢者・幼児／児童を重点対象とし体験を通じて交通社会のルールや安全行動の大切さを啓発する



ピーポくんファミリー、てんけんくん、ナスバちゃんなども登場したオープニングセレモニー



ステージ：警視庁音楽隊ミニコンサート



各ブースを回ったスタンプラリーの最後に交通安全グッズ等をプレゼント

ステージプログラムや体験型ブースの様子



ステージ：交通安全教室



ステージ：クルマ点検ワンポイントアドバイス



警視庁：白バイ展示



首都高：バイク展示



ナスバ：動体視力測定



東京都：歩行者シミュレーター



東京都：自転車シミュレーター



日整連：てんけんくんぬりえ体験コーナー



自動車小売用品業協会：安全にはまず洗車・キレイなクルマで安全ドライブ



電動車いす安全普及協会：電動車いすの安全利用



二輪車普及安全協会：ライディングシミュレーター&ゲンチャレ



J A F：子供運転免許証



共同ブース：クイックタッチ



クイックステップ・クイックキャッチ

■地元交通安全イベントへの協力

【東京都 TOKYO SAFTY ACTIONに参画】



自転車事故防止：新宿警察署
サポカーを展示(5/28)



飲酒運転根絶：愛宕警察署
俊敏性測定機器等を提供(7/1)

【全国秋の交通安全運動に参画】



高輪警察署イベント：サポカーを
展示(9/23)



愛宕警察署イベント：俊敏性
測定機器等を提供(9/30)



高輪警察署イベント：交通
安全教室を開催(9/23)

3) 交通安全

■ナスバギャラリー展開催(11/27 -12/1)



5年連続で日本自動車会館ロビーで事故被害者遺族の作品を展示



自動車事故被害者の作品展
～ナスバギャラリー東京～

開催 令和15年 11月27日(月)～12月1日(金)
8:00～20:00

時間 24日(11月29日)～26日(12月1日)は休館
27日(11月29日)～28日(12月1日)は休館

会場 日本自動車会館ビル1階
(東京都港区赤坂1-4-331)

「自動車事故被害者遺族の作品展」は、毎年11月下旬から12月上旬にかけて、自動車事故被害者遺族の作品を展示する。今年も、自動車事故被害者遺族の作品を展示する。今年も、自動車事故被害者遺族の作品を展示する。今年も、自動車事故被害者遺族の作品を展示する。

恵

「恵」は、自動車事故被害者遺族の作品を展示する。今年も、自動車事故被害者遺族の作品を展示する。今年も、自動車事故被害者遺族の作品を展示する。今年も、自動車事故被害者遺族の作品を展示する。

「恵」は、自動車事故被害者遺族の作品を展示する。今年も、自動車事故被害者遺族の作品を展示する。今年も、自動車事故被害者遺族の作品を展示する。今年も、自動車事故被害者遺族の作品を展示する。

作者・家族とナスバ理事長も駆けつけ展示を見学

■全国会議所の各種交通安全イベントへの協力

全国自動車会議所の関連する交通安全イベントに俊敏性測定機器を貸出し貢献

俊敏性測定機



イベントでの活用の様子



会議所名	イベント名
岐阜	マイカー点検フェア2023
高知	第31回 交通安全ひろば
福島	くるまの点検フェア2023
富山	第38回自動車なんでも無料相談
富山	とやま環境フェア2023
神奈川	自動車なんでも相談所
三重	みえ交通安全・環境フェスタ2023
岐阜	はたらくのりものと自動車安全・環境フェスタ2023

4) 保険



■ 自賠責積立金 約5,900億円の早期全額返済に向けた理解活動の継続

- ・ 国交省の「被害者保護増進等事業に関する検討会（以下、検討会）」、金融庁の「自動車損害賠償責任保険審議会（自賠審）」に本年も参画。
 - ⇒ 国交省と連携して、検討会や自賠審の場を活用し、「考える会」として積立金の早期全額返済(増額)要望や被害者保護増進等事業のユーザーの立場としての意見、ユーザーへの理解活動の必要性等を引き続き訴える（検討会は、4月、8月、12月の計3回開催。自賠審は1月に2回開催）
 - ⇒ 「考える会」として、斉藤鉄夫国土交通大臣、赤澤亮正財務副大臣（今回初めて）、自動車総連顧問議員（磯崎哲史議員、浜口誠議員）への要望活動を継続して実施
- ・ これまでの報道関係者との人脈を活用し、効果的に世論を喚起する活動を実施
 - ⇒ 国交大臣・財務大臣会見での記者からの質問、Yahooニュースでの記事化



2024年度(R6年度)予算で7年連続での繰り戻し(65億円)が実現

2023年度の補正予算として13億円も追加で繰り戻し
⇒ 2018年度以降で最大73億円

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
繰戻額(億円)	23	37 (12)	40 (8)	47 (8)	54 (12)	60 (13)	65

() 内は補正予算による追加繰戻額



4) 保険

■ 自賠制度を考える会 要望活動

斉藤鉄夫国土交通大臣、赤澤亮正財務副大臣、自動車総連顧問議員（磯崎哲史議員、浜口誠議員）に要望書を手渡す

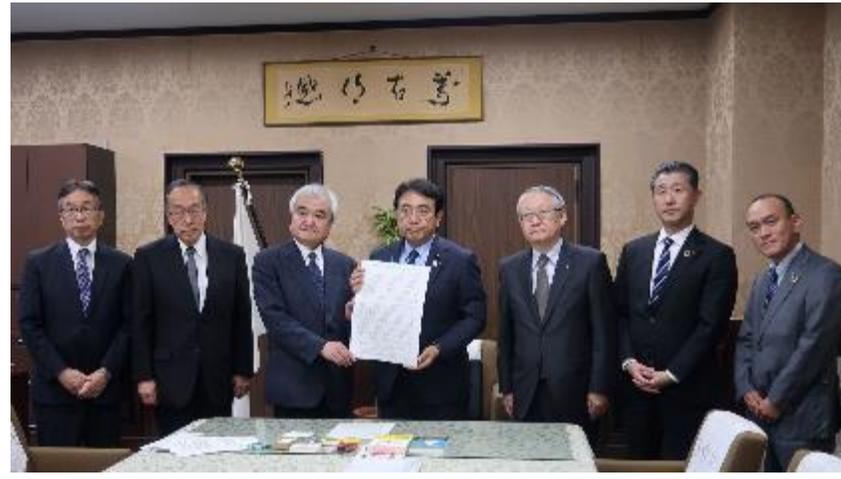
斉藤鉄夫国交大臣（12月4日）



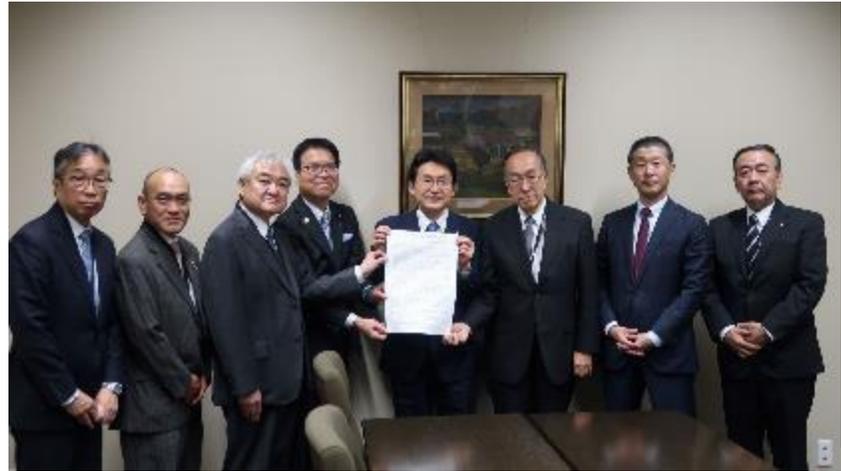
考える会の要望を聞かれる斉藤大臣（12月4日）



赤澤亮正財務副大臣（11月30日）



自動車総連顧問議員（12月4日）



< 要望書 >

自動車安全特別会計からの一般会計繰入金に係る要望
 令和5年12月4日
 自動車損害賠償保障制度を考える会

自動車損害賠償保障制度は自動車ユーザーの支払った保険料で、不幸にして交通事故の被害に遭った人たちの救済を確かめるものにするための、世界に誇れる共助の仕組みです。とりわけ、自賠責の保険料から交通事故被害者への支援を中心とする交通事故対策のために独立した資金は、被害者やその家族の命を支える様々な事業に用いられますが、この繰入金は、特別会計から一般会計に貸し出されたまま、未だに5,867億円(令和5年度末見込)が滞り続けています。

被害者救済対策の重要性、ならびに事業の持続可能性を確保した判断により、昨年度の令和4年度では当初予算54億円に繰正予算併せて66億円、令和5年度は当初予算60億円に繰正予算併せて77億円が一般会計から繰り戻されています。このように、令和2年12月、新たに野田大臣と国土交通大臣との間で交わされた合意文書において、毎年度予算編成が基本となる中、実質的には令和4年度の繰戻し額を繰戻ラインとしつつ、合意期間である令和8年度まで、継続的に繰戻しを確保する旨などが記載されたことは昨々の経緯を振り返っての結果と受け止めております。

しかしながら、令和4年度の一般会計繰入は、2年連続で過去最低を更新し国民への還元が検討されていますが、還元にもまして繰り戻しを確保すべきと考えます。なお、昨年度の繰り戻し額の54億円を基準と捉え、大幅に上回る返済を抑制するということが前提です。新年度の目標はあくまで早期の全額返済です。

昨年度の交通事故死者数が6年連続で過去最少2,610名となった現状においても、介護を必要とする重度後遺障害者数は増加の状況が続いております。通告からの特別会合を含め、令和5年2月取りまとめられた「今後の自動車事故対策協定のあり方に関する検討会」報告書でも、中長期的に問題が深刻化している事故被害者並びにその家族の状況に鑑み、介護者なき後への備えを含めた事故被害者救済の充実や自動車事故発生防止事業の一層の充実・強化の必要性が確認され、法改正のもと、本則に自動車事故対策事業の拡大的実施が明記されました。

また、新たに拡大的な事業推進の財源確保に向けた自動車ユーザーへの繰戻金の制度も運用が開始されました。負担が増した自動車ユーザーに向け、制度導入の理解が得られるよう努めることや、負担軽減に向けた繰戻金水準の引下げに資する環境整備などとともに一般会計から早期かつ確実に繰り戻すことが記載された、衆議院・参議院両方における法律案が提出されることを忘れてはなりません。

最後に、老朽化の進む喫煙センターの増設も進んでいることも含め、令和5年度予算における繰戻金の更なる増額と併せ、今後の全額返済に向けた一層の取組を強く求め、特に以下の2項目を要請いたします。

1. 繰入金総額の5,867億円全額を被害者支援対策・事故防止対策が安定的・継続的に採択にわたって実施できるよう、一般会計から繰り戻しについて、毎年の最大限の増額繰り戻しを確保とした要望を慎重に確保すること
2. 新たな繰戻金の徴収制度がすでに導入された中、費用を負担する自動車ユーザーの理解を得るために、繰入金全額繰り戻しに向けた進捗の提示を行うこと

以上

5) クルマ好き拡大

- 創立75周年（2021年）を機にホームページをリニューアル、画像・動画の活用を拡充
- SNS情報発信は2023年度に4年目に入り、X（旧ツイッター）・フェイスブックをほぼ毎日更新
- 特に、Xはフォロワー数が**1,500件**を超え、着実に反響が拡大

ホームページ



アクセス数

月間**4万～6万台**のペースで推移

※HP、SNSともCSP大賞関連や交通安全イベント関連掲載・投稿時に閲覧数増大の傾向

X



X フォロワー数

2021年 9月 約160

2023年 9月 約1230 ↗

2024年 3月 約1500 ↗ ↗

フェイスブック



Facebook フォロワー数

2021年 9月 約200

2023年 9月 約260 ↗

2024年 3月 約280 ↗

6) 会員サービス



小見門恵氏 (4/13)



石山アンジュ氏 (6/1)



大友更紗氏 (6/28)



首藤若菜氏 (9/26)



中西孝樹氏 (1/29)

■ 会員研修会：会場・リモート併用のハイブリッド形式。自動車関連を中心としたテーマで10回開催。地方から参加者も拡大中

開催日	テーマ	講師
2023年4月18日	モビリティリ・デザインとイノベーションによる新たな価値創造	KPMGモビリティ研究所 所長・小見門恵氏 倉田剛氏
6月1日	シェアリングエコノミーの動向と課題	一般社団法人 シェアリングエコノミー協会 代表理事 石山アンジュ氏
6月28日	情報セキュリティ10大脅威2023 組織編	独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター 大友更紗氏
8月3日	マクロデータによる電動キックボードの事故分析	公益財団法人 交通事故総合分析センター 主任研究員 木内透氏
9月26日	物流の「2024年問題」を乗り越えていくために	立教大学 教授 首藤若菜氏
10月30日	自動車産業における脱成熟化：SDVで変容する価値構造	法政大学 准教授 糸久正人氏
11月29日	サーキュラーエコノミー（循環経済）への招待 ～新しい資本主義経済の形～	東海大学 副学長 公益財団法人 自動車リサイクル促進センター 理事長 細田衛士氏
2024年1月29日	自動車産業の展望 ～2023年の振り返りと2024年の業界動向～	ナカニシ自動車産業リサーチ代表 自動車アナリスト 中西孝樹氏
2月27日	「ライドシェア」を正しく理解し活用しよう	名古屋大学大学院 教授 加藤博和氏
4月3日	体調変化に起因する交通事故の実態と予防対策について	滋賀医科大学 教授 一杉正仁氏



国内施設視察会（静岡・富士モーター スポーツフォレスト 11/16）

6) 会員サービス

■広報・出版事業：

同フォレスト内にあるトヨタ交通安全センター「モビリタ」での安全運転実技講習の後、富士モータースポーツミュージアム・ルーキーレーシングガレージを見学。17名が参加。

特別号含め会議所ニュース10回発行



■全国自動車会議所連携

<全国専務理事会>

年2回計画通り実開催にて現地実施

○秋期 東京都開催 (2023.10.26-27)

○春期 静岡県開催 (2024.2.21-22)



全国専務理事会(東京)・JMS2023の視察も実施

<永年勤続者表彰式>

23年度も2年連続で実開催 (2024.3.1)

受彰者 (6会議所12名)

順不同

- ・ 木村真奈美さん (福島県)
- ・ 野田誠子さん (愛知県)
- ・ 善波祐二さん (神奈川県)
- ・ 山内亜澄さん (愛知県)
- ・ 柴田さつきさん (神奈川県)
- ・ 高橋哉恵さん (愛知県)
- ・ 成田仁さん (神奈川県)
- ・ 吉村昌敏さん (岐阜県)
- ・ 渡邊久美さん (静岡県)
- ・ 河村淳さん (岐阜県)
- ・ 堀カナエさん (静岡県)
- ・ 山東和美さん (福井県)



内山田会長を囲んで記念撮影



6) 会員サービス

■ 日本自動車会館

第6回会館交流会(10/10)について

日時・場所： 2023年10月10日（火） 17:30～19:00 日本自動車会館 1F くるまプラザ

参加人数： 162名

- ・入館各法人から選出の実行委員（15名）が企画・事前準備から当日の運営までを担当。
- ・交流会のアトラクションとして、入館法人に関するクイズ大会と景品が大抽選会を実施。
- ・クイズ大会では「ジャパンモビリティショー」や、「クルマ・社会・パートナーシップ大賞（C S P大賞）」に関する問題が出題され、テーブル毎の チームで相談、回答する形式とするなど懇親を深められるよう工夫。
- ・開催テーマに東北復興を掲げ、東北地方に関わりのある飲食物を提供。
- ・コロナ禍の影響で4年ぶりの開催。来年の開催を期待する声も上がり、交流会は盛況と評価。





■運営審議委員会

<委員長：永塚誠一 自工会副会長・専務理事>

第4回：総会上程議案審議 (23.5.22)

第5回：理事会上程議案審議 (24.2.26)



(写真は第4回)

■税制委員会

<委員長：佐藤康彦 自販連法規・税制委員長>

第1回：税制改正要望書案審議 (23.9.28)

第2回：自動車議連 甘利会長との意見交換 (24.2.15)



(写真は第1回)

■道路・交通委員会

<委員長：若林陽介 全日本トラック協会理事長>

第1回：国交省道路局、物流・自動車局と予算概算要求の情報共有 (23.10.11)

第2回：警察庁等と交通事故状況の情報共有 (24.3.15)



(写真は第1回)

■経済・産業委員会

<委員長：小糸正樹 自販連副会長・専務理事>

第1回：経産省自動車課と産業動向の情報共有(23.10.3)

第2回：経産省自動車課と産業動向の情報共有(24.3.26)



(写真は第1回) 45